

# 平成19年度事業報告

昨年度の日本経済は、大企業中堅企業を中心に好景気を維持しておりますが、中小企業の経営者には、依然として厳しい状況が続いております。そのような中、アメリカのサブプライムローン問題、原油価格高騰によるさまざまな影響が直接中小企業の経営に負担となって、大変厳しい状況下であります。(社)太田法人会も厳しい財政事情の中、各地区会の応援を得て事業に取り組み、法人会の事業目的達成に取り組んでまいりました。

決算期別研修会は、前年度と同様に税務署の協力を得て実施したが、参加人員が減少傾向にあります。会員増強については、地区会、組織委員会、福利厚生制度受託会社の協力により、会員増強期間(10月～12月末、1月～3月末日)を中心に実施しました。しかし、経済環境はまだ改善されず解散、休廃業が多く、新規加入45社に対して退会は77社で32社の減少となっております。当会の加入率は50%を割り込んでおり、今後とも引き続き加入勧奨に取り組んでいく必要があります。

また、法人会が全国的に取り組んできた社会貢献運動については、献血運動を主として、太田地区会、勝田地区会、那珂湊地区会が、継続的に実施、昨年新たに那珂地区会が加わり、多くの方々からご協力いただきました。今後とも継続して実施していきたいと思っております。

本年度も国税電子申告・納税システム(e-Tax)の利用普及に向けて広報・研修等を実施してPRしたが利用者の割合が低調であった。今後更に法人会としても、国が進める電子政府構想の一環である、e-Taxの利用について、役員はじめ役員の皆様をお願いする次第です。これからも法人会を取り巻く環境は厳しいことが予想されますが、法人会の使命、役割を果たしていくため、会員の皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。